

参考資料一覧

対照章	図表等
	<p>図 1 吉野熊野国立公園</p> <p>図 2 国指定大台山系鳥獣保護区</p> <p>図 3 大杉谷森林生態系保護地域</p> <p>図 4 第 6・7 回自然環境基礎調査 現存植生図</p> <p>図 5-1 緊急対策地区の植生（昭和 22（1947）年）</p> <p>図 5-2 緊急対策地区の植生（昭和 47（1972）年）</p> <p>図 5-3 緊急対策地区の植生（平成 14（2002）年）</p> <p>図 6-1 昭和 22（1947）年撮影航空写真</p> <p>図 6-2 昭和 42（1967）年撮影航空写真</p> <p>図 6-3 平成 10 年（1998）年撮影航空写真</p> <p>図 6-4 平成 17 年（2005）年撮影航空写真</p> <p>図 7 奈良県・三重県におけるニホンジカ捕獲数の推移</p> <p>図 8 大台ヶ原周辺部におけるニホンジカのメッシュ別捕獲数(平成 19～20 年度)</p>
	<p>図 9 緊急対策地区における糞粒法調査地メッシュ及び調査地点</p> <p>図 10 計画区域及びその周辺における糞粒法調査地メッシュ</p> <p>図 11 ルートセンサス法の調査位置</p> <p>図 12 区画法の調査地域</p> <p>図 13 植生モニタリング調査地点</p> <p>図 14-1 植生保全対策によるササ植被率および稈高の変化</p> <p>図 14-2 ササ型植生における平成 16～23（2004～2011）年度のミヤコザサの稈高とニホンジカ生息密度の変化</p> <p>図 14-3 生存幹の剥皮度別割合の推移</p> <p>図 15 防鹿柵の設置地域</p> <p>図 16 剥皮防止用ネットの巻き付け実施地域</p> <p>表 1 糞粒法によるニホンジカの生息密度(平成 13～23（2001～2011）年)</p> <p>表 2 植生タイプとその概要</p> <p>表 3 下層植生調査地点</p> <p>表 4 植生保全対策による実生の種別最大高</p> <p>表 5 大台ヶ原における植生保全対策事業一覧</p> <p>生息密度調査手法解説</p>
	<p>個体数調整のための捕獲シュミレーション</p>
	<p>大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会 委員及び関係機関所属部会一覧</p>